



学びと誇りが実感できるまち

～ 新たな一步を踏み出すとき！～

令和5年11月号

庄原市教育委員会
教育長 牧原 明人

西吹けば東にたまる落葉かな (与謝蕪村)

子供たちが活躍していることから紹介します。2つあります。

1つ目は、10月14日(土)、道後山高原クロカンパークで行われた市内中学校駅伝競走大会のことです。今年もすべての中学校から14チームが出場し、日頃から練習を積んできた走力・チーム力を競い合いました。11月19日(日)に開催される中国中学校駅伝大会に出場を決めたのは、女子チームでは(優勝:口和、準優勝:庄原)、男子チームでは(優勝:庄原、準優勝:口和)です。おめでとうございます。

2つ目は、永末小学校が、本年度の「広島県食育推進功労者表彰(学校等教育分野)」を受賞しました。おめでとうございます。長年の食育に対する取り組み、とりわけ、子供たちが作る弁当や食育カレンダーの作成など、食生活を考えた生活を行い、その啓発に努めていることなどが評価されました。

さて、今回はコロナ禍にあった生活を振り返り、現状や今後の取り組みについてもう一度見つめ直し、より充実した内容を創ろう！ということです。

ここ3年間、コロナ感染症のために思い切った取り組みが出来なかったり、中止をしたりするなど、我慢や制限のある生活が続いていましたが、本年5月にコロナ感染症が第5類に分類され、様々な活動や行事などが復活、あるいは修正を加えて実施されています。ところが、コロナ禍前の活動に工夫を加えながら行うとき、その目的や内容、方法、準備、手順などを確認して実施しているのですが、実際に行っていなかったという実態は、予想以上にブレーキや時間がかかったり、不十分な内容になったりしています。

【藤井聡太八冠のこと】

〈常に現状を考え・分析し、次のことを前向きに考える姿勢を学びましょう！〉

令和2年7月、初タイトルを獲得したとき、色紙に「探究」と書き、「より強くなって新しい景色を見たい」と話しました。以後、次々とタイトルを獲得し、先月11日には八冠達成を果たしました。

達成直後「実力という点でみると、課題が多いと思っているので、頂上が見えるということは全くない。」とコメントし、一夜明けた会見では、「王座戦(今回のタイトル戦)をしっかり振り返って前に進みたい」と述べました。

これからの活動は、これまでやってきたことを十分理解し、それを充実させるためにはどうすればよいか、また新たに挑戦する内容はできないかなど、工夫改善しながら実施し、次のステージに向けて、質の向上を図りつつ前に進めていくことが大切です。

学校や地域の行事など、再確認・再検討する機会と考え、しっかり話し合ってみましょう。